

I 農業産出額に占める畜産の位置

茨城県における令和元年の農業産出額は4,302億円で、前年に比べ206億円(4.6%)減少した。これは主に、野菜の産出額が133億円、米の産出額が59億円、豚の算出額が51億円減少したことによる。

畜産産出額は1,243億円で、前年に比べ34億円(2.7%)減少した。これは主に、豚の産出額が減少したことによる。

肉用牛は168億円で、前年に比べ4億円(2.4%)増加した。これは、飼養頭数が増加し、枝肉生産量が増加したことによる。

乳用牛は219億円で、前年に比べ10億円(4.8%)増加した。これは、生乳生産量が増加したほか、生乳販売単価が前年より高値で推移したことによる。

豚は354億円で、前年に比べ51億円(12.6%)減少した。これは、廃業や前年の猛暑による繁殖不良の影響で出荷頭数が減少したことによる。

鶏は499億円で、前年に比べ2億円(0.4%)増加した。これは、販売単価は低下したものの、飼養羽数が大幅に増加し、生産量が増加したことによる。

部門別の構成を見ると、耕種部門は2,976億円で全体の69.2%を占め、畜産部門は1,243億円で28.9%となっており、畜産部門の構成比は前年に比べ0.6ポイント増加した。

図1 農業産出額の部門別構成

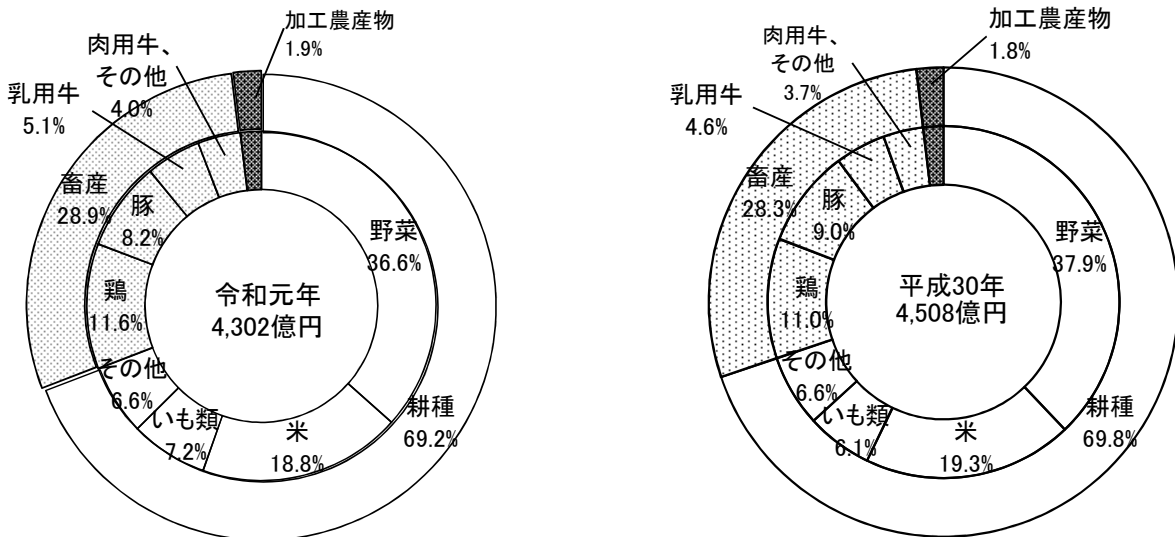


表1 茨城県の主要農産物の産出額(令和元年)
令和元年 4,302 (億円)

順位	農産物名	産出額 (億円)	構成比 (%)
1	米	809	18.8
2	鶏卵	453	10.5
3	豚	354	8.2
4	かんしょ	269	6.3
5	生乳	194	4.5
6	肉用牛	168	3.9
7	メロン	123	2.9
8	レタス	121	2.8
9	ねぎ	120	2.8
10	ピーマン	115	2.7

<農林水産統計(農業産出額(都道府県別))>

